学校番号	110

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語演習	2	第３学年 （普通科）	・Cutting Edge Green 大学入試総合読解問題集

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語演習の授業は、大学入試に向けて必要な基礎力と実戦力を同時に養成するために、演習問題を多く取り入れます。特に長文読解と英文解釈についての大学入試対策を中心に行います。他の講座同様、英語の文法や語彙については、英語のコミュニケーションでどのように使われるかということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習し、いわゆる「文法問題」の対策だけでなく、英語を読んで理解し、正しい英文を書くために必要な「本当の英語力」を身につけることを心がけましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・自然な速さで話される観光地での説明やガイドなどのアナウンスを聞いて、大切なポイントをもらさず概要を把握することができる。 ・はっきりと話されれば、身近なトピックについての短いニュースの要点を聞き取ることができる。	・小説などを読み、背景を踏まえ事実関係だけではなく、登場人物の気持ちなどを把握し、気持ちに応じて適切な速度や声の調子で音読することができる。 ・やさしい英語で書かれた物語を読み切り、全体の筋を理解することができる。	・自分のことや身の回りのことについて簡単な紹介や説明を求められても、即興で適切に応答することができる。 ・簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）をすることができる。	・身近なトピックや興味・関心のあるテーマについて、即興で説明することができる。 ・自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。	・身近な話題に関して説明をし、自分の意見を、つなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある段落をひとつ書くことができる。 ・慣れ親しんだ語や表現を用いて、物事の手順を筋道立てて書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	Chapter 1 食事と CO_2 Chapter 2 必要水分量 Chapter 3 英語の変遷 Chapter 4 トランスヒューマン	聞くこと	a.食事や身の周りに関すること、英語の変遷やトランスヒューマンについて、関係詞を使って伝える表現を理解している。 b: 食事や身の周りに関すること、英語の変遷やトランスヒューマンについて、関係詞を使って伝える表現を聞き取っている。 c: 食事や身の周りに関すること、英語の変遷やトランスヒューマンについて、関係詞を使って伝える表現を聞き取ろうとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 関係詞の働きを理解している。 b: 食事や身の周りに関すること、英語の変遷やトランスヒューマンについて、読んで概要を捉えている。 c: 食事や身の周りに関すること、英語の変遷やトランスヒューマンについて、読んで概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング） パフォーマンス課題
		話すこと （やり取り）	a: 関係詞を適切に用いて，食事や身の周りに関すること、英語の変遷やトランスヒューマンについて，ペアで正しい英語を用いて意見交換することができる。 b: 食事や身の周りに関すること、英語の変遷やトランスヒューマンについて、ペアで話すことができる。 c: 食事や身の周りに関すること、英語の変遷やトランスヒューマンについて，ペアで話そうとする姿勢が見られる。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 関係詞を適切に用いて，食事や身の周りに関すること、英語の変遷やトランスヒューマンについて，ほぼ正しい英語で書くことができる。 b: 食事や身の周りに関すること、英語の変遷やトランスヒューマンについて，ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 c: 食事や身の周りに関すること、英語の変遷やトランスヒューマンについて，書こうとする態度が見られる。	定期考査 （ライティング） パフォーマンス課題
	中間考査			
	Chapter 5 絶滅危惧種の選定 Chapter 6 嘘も方便 Chapter 7 火の制御とその効果 Chapter 8 老人ホームへ贈り物	聞くこと	a 絶滅危惧種や火の制御とその効果、エッセイや物語などのトピックについて、分詞を使って伝える表現を理解している。 b: 絶滅危惧種や火の制御とその効果、エッセイや物語などのトピックついて、分詞を使って伝える表現を聞き取っている。 c: 絶滅危惧種や火の制御とその効果、エッセイや物語などのトピックについて、分詞を使って伝える表現を聞き取ろうとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 分詞の働きを理解している。 b: 絶滅危惧種や火の制御とその効果、エッセイや物語などのトピックについて、読んで概要を捉えている。 c: 絶滅危惧種や火の制御とその効果、エッセイや物語などのトピックについて、読んで概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング） パフォーマンス課題
		話すこと （発表）	a: 分詞を適切に用いて，絶滅危惧種や火の制御とその効果、エッセイや物語などのトピックについて，ほぼ正しい英語で話すことができる。 b: 絶滅危惧種や火の制御とその効果、エッセイや物語などのトピックについて，自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいのかを考え，話すことができる。 c: 絶滅危惧種や火の制御とその効果、エッセイや物語などのトピックについて，自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいのかを，話そうとする姿勢が見られる。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 分詞を用いて，絶滅危惧種や火の制御とその効果、エッセイや物語などのトピックについて，ほぼ正しい英語で書くことができる。 b: 絶滅危惧種や火の制御とその効果、エッセイや物語などのトピックについて，自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいのかを考え，ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 c: 絶滅危惧種や火の制御とその効果、エッセイや物語などのトピックについて，自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいのかを，書こうとする態度が見られる。	定期考査 （ライティング） パフォーマンス課題
	7月考査			
	Chapter 9 生活賃金	聞くこと	a　生活資金、アフリカの事情、サンゴ礁、緑色の血液などのトピックについて，未来のために今の私たちにできることを、不定詞を使って伝える表現を理解している。 b: 生活資金、アフリカの事情、サンゴ礁、緑色の血液などのトピックについて，不定詞を使って伝える表現を聞き取っている。	リスニングテスト

	Chapter 10 アフリカのブランド品 Chapter 11 サンゴ礁 Chapter 12 緑色の血液		c: 生活資金、アフリカの事情、サンゴ礁、緑色の血液などのトピックについて，不定詞を使って伝える表現を聞き取ろうとしている。	
		読むこと	a: 不定詞について理解している。 b: 生活資金、アフリカの事情、サンゴ礁、緑色の血液などのトピックについて、読んで概要を捉えている。 c: 生活資金、アフリカの事情、サンゴ礁、緑色の血液などのトピックについて、読んで概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング） パフォーマンス課題
		話すこと （やり取り）	a: 不定詞を使って，生活資金、アフリカの事情、サンゴ礁、緑色の血液などのトピックについて，ペアで正しい英語を用いて意見交換することができる。 b: 生活資金、アフリカの事情、サンゴ礁、緑色の血液などのトピックについて，ペアで話すことができる。 c: 生活資金、アフリカの事情、サンゴ礁、緑色の血液などのトピックについて，ペアで話そうとする姿勢が見られる。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 不定詞を使って，生活資金、アフリカの事情、サンゴ礁、緑色の血液などのトピックについて，ほぼ正しい英語で書くことができる。 b: 生活資金、アフリカの事情、サンゴ礁、緑色の血液などのトピックについて，ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 c: 生活資金、アフリカの事情、サンゴ礁、緑色の血液などのトピックについて，書こうとする態度が見られる。	定期考査 （ライティング） パフォーマンス課題
	期末考査			
後期	Chapter 13 文明の隆盛 Chapter 14 豪華客船の沈没 Chapter 15 教育と報酬	聞くこと	a　文明や豪華客船の沈没、教育と報酬などのトピックについて、原形不定詞や不定詞を含む表現を理解している。 b: 文明や豪華客船の沈没、教育と報酬などのトピックについて、原形不定詞や不定詞を含む表現を聞き取っている。 c: 文明や豪華客船の沈没、教育と報酬などのトピックについて、原形不定詞や不定詞を含む表現を聞き取ろうとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 原形不定詞や不定詞を含む表現について理解している。 b: 文明や豪華客船の沈没、教育と報酬などのトピックについて、読んで概要を捉えている。 c: 文明や豪華客船の沈没、教育と報酬などのトピックについて、読んで概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング） パフォーマンス課題
		話すこと （発表）	a: 原形不定詞や不定詞を含む表現を適切に用いて，文明や豪華客船の沈没、教育と報酬などのトピックについて，ほぼ正しい英語で話すことができる。 b: 文明や豪華客船の沈没、教育と報酬などのトピックについて，話すことができる。 c: 文明や豪華客船の沈没、教育と報酬などのトピックについて，話そうとする姿勢が見られる。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 原形不定詞や不定詞を含む表現を用いて，文明や豪華客船の沈没、教育と報酬などのトピックについて，ほぼ正しい英語で書くことができる。 b: 文明や豪華客船の沈没、教育と報酬などのトピックについて，ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 c: 文明や豪華客船の沈没、教育と報酬などのトピックについて，書こうとする態度が見られる。	定期考査 （ライティング） パフォーマンス課題
	中間考査			
	Chapter 16 自動運転車 Chapter 17 睡眠の常識 Chapter 18 幸福感	聞くこと	a: 自動運転車、睡眠の常識、幸福感というトピックについて、学習した文法を使って伝える表現を理解している。 b: 自動運転車、睡眠の常識、幸福感というトピックについて、学習した文法を使って伝える表現を聞き取っている。 c: 自動運転車、睡眠の常識、幸福感というトピックについて、学習した文法を使って伝える表現を聞き取ろうとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 学習した文法について理解している。 b: 自動運転車、睡眠の常識、幸福感というトピックについて、読んで概要を捉えている。 c: 自動運転車、睡眠の常識、幸福感というトピックについて、読んで概要を捉えようとしている。	パフォーマンス課題
		話すこと （やり取り）	a: 学習した文法を適切に用いて，自動運転車、睡眠の常識、幸福感というトピックについて，ペアで正しい英語を用いて意見交換することができる。 b: 自動運転車、睡眠の常識、幸福感というトピックについて，ペアに自分の考えを話すことができる。	スピーキングテスト

			c: 自動運転車、睡眠の常識、幸福感というトピックについて，自分の考えをペアに話そうとする姿勢が見られる。	
		書くこと	a: 学習した文法を用いて，自動運転車、睡眠の常識、幸福感というトピックについて，コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。 b: 自動運転車、睡眠の常識、幸福感というトピックについて，自分の考えをある程度まとまりのある文章で書くことができる。 c: 自動運転車、睡眠の常識、幸福感というトピックについて，自分の考えを書こうとする態度が見られる。	パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度